



伊橋くに子さん

会 談 座

成人という自覚と 責任の持てる行動

二十歳の抱負

成人になる、と言っても現代の若者には、それほどの重い意義は感じていないと言われる。しかし、それなりに何んらかの意義を見いだして努力していることは確かだろう。ここの町の成人者は二二六名でした。そこで八人の方に代表してもらい座談会を行った。

司会 皆さん成人になられたわけですが、成人になった現在の気持はどうですか。

伊橋 成人になったと言っても実感は別にない、と言う感じですね
江波戸 二十歳になったからと言って、別に大人としての意識はな

いね。

平野 私の誕生日は七月であったので、もう二十歳を過ぎました。

やはり誕生日を迎えたときにはいつも年とったなあ(笑)と、いう感じですね。特に二十歳になったから、どうのこうのと言うわけではなく、誕生日を迎えたくらいの気持ですよ。

向後 成人と言う実感がわからないですね。十九才から二十歳、子供から大人への区切りがつかないですよ。

椎名 私の誕生日は十月でしょうその時が二十歳で、その時からた

〈出席者〉

(敬称略)

江平	波野	戸瀬	伸和	治夫	農協	職員	員業人母員師業業
加林	伊橋	藤後	雪隆	江輝	農植	木職	太郎
伊遠	向椎	町産	課課	長長	保店	美容	幸平
住	業民				美畜	産	栄
					農	馬場	飯島
						花沢	
						(司会)	

ただ延長でしょう。

成人式は町でやってくれるからその時点で何かを考えて、実感がわくと思います。

私は職業柄今までより、もっと子供たちと楽しく過ごしたいですね。

司会 成人になる日は個々に相違がありますが、明後日、町と社教で成人式を行い、皆さんにお祝い申し上げると共に、励ますことになっておりますが、是非共、式典にご参加いただきたい。

町長 実感がわかないとか、十九

〈次ページ上段へ〉